



---

## 多様な子どもを内包する効果的学習のための授業の ユニバーサルデザイン実践研究

---

教育学部附属学園学習生活支援研究センター

附属学園学習生活支援研究センターは、附属小・中学校（平成31年度より義務教育学校）及び幼稚園の子ども達の生活と学習面の連続・一貫した支援の実施、並びに、地域の現職教員の特に通常学級における特別支援教育的実践技能等向上への貢献、これらを主な目的として、4名の専任教諭を配置したセンターとして平成27年度に附属学校に設置されました。文部科学省の委託研究として、平成27年度に「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援事業」、平成30年度には「発達障害の可能性のある児童生徒に対する教科指導法研究事業」を実施しました。センターでは、多様性をもった全ての子どもの学びの成立を目指した、複数の感覚様式での情報提示、子どもの多様な表現様式の保障、個々の学習スタイルに適合した学びの方法の自己選択など、学びのユニバーサルデザインに関わる実践的研究を行っています。またさらに、その成果に基づいた地域の現職教員を対象とした研修会を開催しています。